日本草地学会賞を受賞した、
品種の育成についての講演会を開催

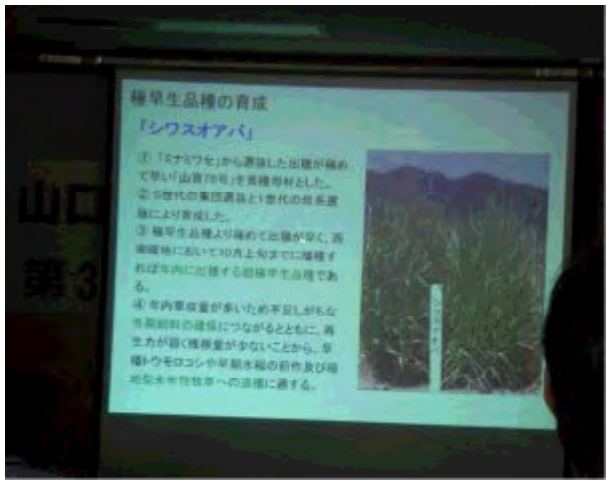
畜産技術部(畜産試験場)
平成21年9月4日

8月31日に、農林総合技術センター畜産技術部において、山口県草地研究会が開催され、日本草地学会賞を受賞した「暖地向きイタリアンライグラス品種の育成」についての記念講演を行いました。

イタリアンライグラスは、家畜の基幹となる飼料作物で、山口県産飼料の自給率向上や水田の有効利用に大きく寄与しています。

このたび、山口県農林総合技術センター農業技術部で昭和39年以降、今日まで優れた品種育成への取り組みが、日本草地学会賞の受賞となりました。

農業技術部のイタリアンライグラスの育種は、これまでに6品種、4系統を育成し、品種の中には、現在もトップシェアーを誇る人気品種の「ワセユタカ」や、いもち病と冠さび病に複合抵抗性を備えた「さちあおば」などがあります。

さらに今年、「ワセユタカ」をさらに進化させた新品種「山系33号」を育成し、品種登録も行いました。

イタリアンライグラスの育種は、たいへん長い時間がかかり、今後、ますます多様化してくる現場のニーズに応え、農家の利益に繋がる高能力品種が育成されるよう期待するとともに、新品種がますます普及していくよう、畜産技術部としても、協力していきたいと思います。